

# 1999年 大会記録

## 国際

### ◇ショープ女子国際大会（1月23～24日、フランス・トゥルクアン）

《シニア》▼51kg級 伊調千春（京都・網野高）＝優勝、松本登紀子（京都・網野高）＝5位、坂本日登美（青森・八戸工大一高）＝9位、▼56kg級 菅綾子（埼玉・埼玉栄高）＝3位、井上夕起子（東京・安部学院高）＝4位、▼62kg級 正田絢子（京都・網野高）＝優勝、坂本襟（青森・八戸工大一高）＝9位

《カデット》▼36kg級 谷澤佳子（岐阜・飛騨高山クラブ）＝7位、▼43kg級 林知佳子（静岡・沼津城北高）＝2位、▼49kg級 世良桃子（福岡・青山スポーツ）＝優勝、長野美香（岐阜・羽島市連盟）＝6位、▼52kg級 横山映利子（三重・久居高）＝2位、▼56kg級 吉田沙保里（三重・久居高）＝優勝、▼kg級 山本真由美（愛知・中京女大附高）＝3位

《ミニム》▼57kg級 下国美穂（千葉・関宿クラブ）＝4位、▼62kg級 大島貴子（熊本・熊本クラブ）＝2位、宇野祥弥（三重・四日市ジュニア）＝3位

### ◇クリッパン女子国際大会（3月13～14日、スウェーデン・クリッパン）

▼46kg級 織田智絵（東洋大）＝優勝、川又尚美（国士舘大）＝3位、大門まい子（中京女大）、▼51kg級 新海朋子（中京女大）＝2位、辻結花（中京女大クラブ）＝順位なし、▼56kg級 蟹江まり子（中京女大）＝順位なし、▼62kg級 坂本襟（中京女大）＝4位、宮本さと美（高岡法科大）＝順位なし、▼68kg級 宮本知恵（中京女大）＝2位、▼75kg級 佐々木昌子（高岡法科大）

### ◇アレキサンドリア国際大会＝男子フリースタイル（3月20～21日、ギリシャ・テッサ

#### ロニキ）

▼54kg級 仮屋崇（日大）＝4位、▼58kg級 山本徳郁（山梨学院大）＝3位、▼63kg級 太田亮介（日大）＝4位、▼69kg級 笥田幸宏（国士舘大）＝2位、▼76kg級 大橋理秀（桃山学院大）＝2位、▼85kg級 溝上誠治（日体大）＝3位、藤田尚志（山梨学院大）＝5位、▼97kg級 小平清貴（山梨学院大）＝2位

### ◇アクロポリス国際大会＝男子グレコローマン（3月23～24日、ギリシャ・アテネ）

▼54kg級 村田知也（日体大）＝7位、▼58kg級 笹本睦（日体大）＝2位、▼63kg級

飯室雅規（拓大）＝5位、▼69kg級 土田樹史（国士舘大）＝予選リーグ敗退、▼76kg級  
加納篤（日体大）＝4位、▼85kg級 松本慎吾（日体大）＝3位、▼97kg級 長島康弘（中  
大）＝6位、▼130kg級 鈴木克彰（拓大）＝5位

◇タクティ・カップ＝男子フリースタイル（2月8～11日、イラン・トネカボン）

▼54kg級 田南部力（警視庁）＝4位、田村茂一（自衛隊）＝14位、▼58kg級 石嶋勇  
次（総合警備保障）＝18位、▼69kg級 勝龍三郎（総合警備保障）＝8位、▼76kg級 小  
柴健二（自衛隊）＝12位、太田拓弥（和歌山県協会）＝3位、▼85kg級 川合達夫（日体  
大助）＝15位、▼97kg級 小菅裕司（日体大）＝6位、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）  
＝7位

◇デーブ・シュルツ国際大会（2月12～13日、米国・コロラドスプリングズ）

《男子フリースタイル》▼69kg級 和田貴広（和歌山県教育庁）＝2位、▼85kg級 横  
山武典（国士舘大助）＝8位

《男子グレコローマン》▼54kg級 佐々木昌常（自衛隊）＝3位、▼58kg級 西見健吉  
（自衛隊）＝2位、▼63kg級 元木康年（自衛隊）＝9位、▼69kg級 永田克彦（警視庁）  
＝15位、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）＝3位、▼85kg級 横山秀和（秋田・秋田経法大  
付高教）＝7位、▼97kg級 岩渕利則（警視庁）＝6位、▼130kg級 浜上稔（宮崎・宮  
崎農高教）＝3位

◇アジア選手権（5月25～30日、ウズベキスタン・タシュケント）

《男子フリースタイル》▼54kg級 田南部力（警視庁）＝9位、▼58kg級 井上謙二（自  
衛隊）＝5位、▼63kg級 矢山裕明（熊本・玉名工高教）＝5位、▼69kg級 和田貴広（和  
歌山県教教育庁）＝2位、▼76kg級 小柴健二（自衛隊）＝6位、▼85kg級 川合達夫（日  
体大助）＝3位、▼97kg級 今村雄介（高田道場）＝4位、▼130kg級 小幡弘之（警視  
庁）＝4位

《男子グレコローマン》▼54kg級 佐々木昌常（自衛隊）＝5位、▼58kg級 西見健吉  
（自衛隊）＝4位、▼63kg級 元木康年（自衛隊）＝9位、▼69kg級 永田克彦（警視庁）  
＝棄権、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）＝3位、▼85kg級 横山秀和（秋田・秋田経法大  
付高）＝4位、▼97kg級 山口孝二（自衛隊）＝9位、▼130kg級 鈴木克彰（拓大）＝  
6位

《女子》▼46kg級 山本美憂（日体パンサーズ）＝優勝、▼51kg級 篠村敦子（福岡大）  
＝優勝、▼56kg級 三田寺由香（スポーツエリックス）＝優勝、▼62kg級 鈴木亜里（日

大) = 優勝、▼68kg 級 住谷礼子 (東洋大) = 2 位、▼75kg 級 富岡多恵子 (国士舘大) = 優勝

**◇ソウル国際学生大会 (6月10～11日、韓国・ソウル)**

《男子フリースタイル》▼54kg 級 仮屋崇 (日大) = 順位なし、▼58kg 級 山本徳郁 (山梨学院大) = 3 位、▼63kg 級 太田亮介 (日大) = 2 位、▼69kg 級 笈田幸宏 (国士舘大) = 3 位、▼76kg 級 大橋理秀 (桃山学院大) = 順位なし、▼85kg 級 藤田尚志 (山梨学院大) = 順位なし、▼97kg 級 小平清貴 (山梨学院大) = 優勝、▼130kg 級 矢野通 (日大) = 3 位

《男子グレコローマン》▼54kg 級 松川昌生 (拓大) = 3 位、▼58kg 級 平井進悟 (拓大) = 順位なし、▼63kg 級 飯室雅規 (拓大) = 3 位、▼69kg 級 池田秀治 (山梨学院大) = 順位なし、▼76kg 級 菅太一 (日大) = 順位なし、▼85kg 級 税田拓也 (拓大) = 順位なし、▼97kg 級 長島康弘 (中大) = 2 位、▼130kg 級 鈴木克彰 (拓大) = 優勝

**◇フィンランド・オープン=男子グレコローマン (7月3～4日、フィンランド・ユヴァスキラ)**

▼54kg 級 佐々木昌常 (自衛隊) = 予選リーグ敗退、▼58kg 級 西見健吉 (自衛隊) = 5 位、▼63kg 級 元木康年 (自衛隊) = 3 位、▼69kg 級 永田克彦 (警視庁) = 予選リーグ敗退、▼76kg 級 片山貴光 (自衛隊) = 優勝、▼85kg 級 横山秀和 (秋田・秋田経法大付高教) = 5 位、▼130kg 級 鈴木克彰 (警視庁) = 4 位

**◇アジア・ジュニア選手権 (7月6～7日、イラン・テヘラン)**

《男子フリースタイル》▼50kg 級 松本良 (徳山大) = 6 位、▼54kg 級 高橋利典 (山梨学院大) = 2 位、▼58kg 級 谷口勝信 (国士大) = 4 位、▼63kg 級 金渕清文 (国士大) = 2 位、▼69kg 級 飯塚匡 (東農大) = 2 位、▼76kg 級 小幡邦彦 (山梨学院大) = 2 位、▼85kg 級 藤田尚志 (山梨学院大) = 2 位、▼97kg 級 金親幸嗣 (中大) = 3 位、▼130kg 級 登倉公一 (山梨学院大) = 4 位

《男子グレコローマン》▼50kg 級 鴻巣伸彦 (日大) = 4 位、▼54kg 級 森岡則晴 (拓大) = 5 位、▼58kg 級 田中謙介 (日体大) = 4 位、▼63kg 級 村崎学志 (拓大) = 3 位、▼69kg 級 後藤孝治 (東農大) = 5 位、▼76kg 級 菅太一 (日大) = 2 位、▼85kg 級 森角裕介 (日体大) = 3 位、▼97kg 級 丸山真太郎 (福岡大) = 4 位、▼130kg 級 加藤賢三 (大東大) = 3 位

**◇ヤリギン国際大会=男子フリースタイル (7月23～25日、ロシア・クラスノヤルスク)**

ク)

▼54kg 級 井上英 (自衛隊) = 19 位、▼58kg 級 井上謙二 (自衛隊) = 9 位、▼76kg 級 太田拓弥 (和歌山県協会) = 13 位

◇世界カデット選手権=男子グレコローマン (7月28～、デンマーク・ニコピンファル

スター)

▼42kg 級=出場なし、▼46kg 級 山崎康弘 (東京・東京工高) = 26 位、▼50kg 級 竹中伸太 (大阪・大阪市立高) = 25 位、▼54kg 級=出場なし、▼58kg 級 成田真臣 (奈良・添上高) = 26 位、▼63kg 級 正村貴章 (奈良・添上高) = 29 位、▼69kg 級 村井和弥 (滋賀・日野高) = 18 位、▼76kg 級 吉川将太郎 (富山・高岡商高) = 25 位、▼85kg 級 森田健司 (奈良・天理親里高) = 22 位、▼100kg 級 川崎壮基 (富山・滑川高) = 19 位

◇世界カデット選手権=男子フリースタイル、女子 (8月5～7日、ポーランド・ウツ

ジ)

《男子フリースタイル》▼42kg 級 長谷川恒平 (静岡・焼津リトル) = 12 位、▼46kg 級 藤元慎平 (宮崎県協会) = 19 位、▼50kg 級 藤沢篤司 (岐阜・岐南工高) = 26 位、▼54kg 級 中橋裕樹 (富山・高岡商高) = 14 位、▼58kg 級 黒田竜也 (山口・鴻城高) = 16 位、▼63kg 級 笹田英利 (岐阜・岐南工高) = 16 位、▼69kg 級=出場なし、▼76kg 級=出場なし、▼85kg 級 小西誠 (熊本・北陵高) = 24 位

《女子カデット》▼38kg 級=出場なし、▼40kg 級 竹中奈々 (京都・網野高) = 優勝、▼43kg 級 船津友里 (埼玉・東洋大ク) = 5 位、▼46kg 級 野口美香 (鹿児島・鹿屋中央高) = 優勝、▼49kg 級 世良桃子 (福岡・青山クラブ) = 3 位、▼52kg 級 服部担子 (愛知・中京女大付高) = 7 位、▼56kg 級 吉田沙保里 (三重・久居高) = 優勝、▼60kg 級 初見絵里花 (千葉・関宿ク) = 13 位、▼65kg 級 志賀静子 (群馬・富岡商高) = 13 位、▼70kg 級 比留間佳江 (埼玉・埼玉栄高) = 6 位

◇カナダ・カップ=男子フリースタイル (7月9～10日、カナダ・グエルフ)

▼54kg 級 田南部力 (警視庁) = 2 位、▼58kg 級 石嶋勇次 (総合警備保障) = 三失、▼63kg 級 矢山裕明 (熊本・玉名工高教) = 3 位、▼69kg 級 伊東克佳 (河北建設) = 2 位、▼85kg 級 横山武典 (国士舘大助) = 2 位、▼97kg 級 小菅裕司 (自衛隊) = 優勝、▼130kg 級 小幡弘之 (警視庁) = 優勝

◇世界ジュニア選手権=女子 (8月12～15日、ルーマニア・ブカレスト)

▼43kg 級 福浦早紀 (島根・隠岐島前高) = 8 位、▼46kg 級 幹佳奈子 (福岡大) = 3 位、▼50kg 級 篠村敦子 (福岡大) = 優勝、▼54kg 級 山本聖子 (日大) = 優勝、▼58kg

級 岩間怜那（中京女大）＝優勝、▼63kg 級 正田絢子（京都・網野高）＝優勝、▼75kg  
級 富岡多恵子（国士舘大）＝2位

◇世界ジュニア選手権＝男子フリースタイル（8月19～22日、豪州・シドニー）

▼50kg 級 松本良（徳山大）＝6位、▼54kg 級 高橋利典（山梨学院大）＝8位、▼58kg  
級 谷口勝信（国士大）＝12位、▼63kg 級 金渕清文（国士大）＝13位、▼69kg 級 飯  
塚匡（東農大）＝11位、▼76kg 級 小幡邦彦（山梨学院大）＝3位、▼85kg 級 藤田尚志  
（山梨学院大）＝9位、▼97kg 級 金親幸嗣（中大）＝18位、▼130kg 級＝出場なし

◇世界ジュニア選手権＝男子グレコローマン（8月12～15日、ルーマニア・ブカレスト）

▼50kg 級 鴻巣伸彦（日大）＝5位、▼54kg 級 森岡則晴（拓大）＝14位、▼58kg 級  
田中謙介（日体大）＝16位、▼63kg 級 村崎学志（拓大）＝25位、▼69kg 級 後藤孝治  
（東農大）＝21位、▼76kg 級 菅太一（日大）＝22位、▼85kg 級 森角裕介（日体大）  
＝14位、▼97kg 級 丸山真太郎（福岡大）＝19位、▼130kg 級 加藤賢三（大東大）＝19  
位

◇世界選手権＝女子（9月10～12日、スウェーデン・ボーデン）

▼46kg 級 吉村祥子（TBC東京ビューティセンター）＝4位、▼51kg 級 山本聖子（日  
大）＝優勝、▼56kg 級 清水真理子（埼玉・埼玉栄高教）＝2位、▼62kg 級 正田絢子（京  
都・網野高）＝優勝、▼68kg 級 宮本知恵（中京女大）＝11位、▼75kg 級 浜口京子（浜  
口ジム）＝優勝

◇世界選手権＝男子グレコローマン（9月23～26日、ギリシャ・アテネ）

▼54kg 級 佐々木昌常（自衛隊）＝31位、▼58kg 級 西見健吉（自衛隊）＝26位、▼63kg  
級 元木康年（自衛隊）＝17位、▼69kg 級 永田克彦（警視庁）＝30位、▼76kg 級 片  
山貴光（自衛隊）＝21位、▼85kg 級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高教）＝23位、▼97kg  
級 山口孝二（自衛隊）＝31位、▼130kg 級 鈴木克彰（警視庁）＝18位

◇世界選手権＝男子フリースタイル（10月7～10日、トルコ・アンカラ）

▼54kg 級 田南部力（警視庁）＝12位、▼58kg 級 石嶋勇次（総合警備保障）＝29位、  
▼63kg 級 矢山裕明（熊本・玉名工高教）＝16位、▼69kg 級 和田貴広（和歌山県教育庁）  
＝31位、▼76kg 級 小柴健二（自衛隊）＝26位、▼85kg 級 川合達夫（日体大助）＝5  
位、▼97kg 級 小菅裕司（自衛隊）＝20位、▼130kg 級 小幡弘之（警視庁）＝19位

◇サンキスト・カップ＝男子フリースタイル（10月30～31日、米国・チャンドラー）

▼58kg級 久米貴幸（自衛隊）＝順位なし、関川博紀（新潟県体協）＝順位なし、▼63kg級 山本英典（自衛隊）＝8位、▼69kg級 天谷満博（警視庁）＝順位なし、▼76kg級 柴田寛（農大クラブ）＝順位なし）、▼85kg級 横山武典（国士舘ク）＝順位なし、▼130kg級 吉田清太郎（秋田市役所）＝7位

**◇ハパラダ国際大会＝男子グレコローマン（12月4～5日、スウェーデン・ハパラ**

**ダ）**

▼54kg級 豊田雅俊（警視庁）＝順位なし、▼58kg級 西島隆（高岡総合プール）＝棄権、▼63kg級 杉山卓（山形県協会）＝順位なし、▼69kg級 織山昭仁（自衛隊）＝順位なし、▼76kg級 伊藤光伸（宮越工芸）＝順位なし、▼97kg級 篠崎正二（自衛隊）＝順位なし、▼130kg級 室谷正憲（和歌山県協会）＝順位なし

**国内**

**◇全日本女子クラブ選手権（2月14日、東京・スポーツ会館）**

《順位》[1] ブリリアントガールズ、[2] 代々木ファイターズ、[3] アミノ・パワフルレディース

**◇ジャパングイーンズカップ（3月7日、東京・駒沢体育館）**

《優勝者》▼46kg級 吉村祥子（TBC東京）、▼51kg級 山本聖子（日体パンサーズ）、▼56kg級 清水真理子（群馬県協会）、▼62kg級 正田絢子（京都・網野高）、▼68kg級 宮本知恵（中京女大）、▼75kg級 浜口京子（浜口ジム）

**◇全国高校選抜大会（3月27～29日、新潟・新潟市体育館）**

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（5年連続11度目）、[2] 鹿児島・鹿屋中央、[3] 長野・北佐久農、香川・多度津工

《個人戦優勝者》▼49kg級 久古敏章（京都・網野）、▼52kg級 清水聖志人（茨城・霞ヶ浦）、▼56kg級 藤本健太（大阪・近大付）、▼60kg級 谷元浩司（大阪・吹田）、▼65kg級 長島正幸（群馬・館林）、▼70kg級 長島和幸（群馬・館林）、▼76kg級 花田信秀（和歌山・和歌山工）、▼115kg級 沢田直樹（青森・八戸工大一）

**◇JOC杯ジュニアオリンピック（4月24～25日・横浜文化体育館）**

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼50kg級 松本良（徳山大）、▼54kg級 高橋利典（山梨学院大）、▼58kg級 谷口勝信（国士大）、▼63kg級 金淵清文（国士大）、▼69kg級 飯塚匡（東農大）、▼76kg級 小幡邦彦（山梨学院大）、▼85kg級 藤田尚志

(山梨学院大)、▼97kg級 金親幸嗣(中大)、▼130kg級 登倉公一(山梨学院大)

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 鴻巣伸彦(日大)、▼54kg級 森岡則晴(拓大)、▼58kg級 田中謙介(日体大)、▼63kg級 村崎学志(拓大)、▼69kg級 池田秀治(山梨学院大)、▼76kg級 菅太一(日大)、▼85kg級 森角裕介(日体大)、▼97kg級 丸山真太郎(福岡大)、▼130kg級 加藤賢三(大東大)

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 長谷川恒平(静岡・焼津リトル)、▼46kg級 藤元慎平(宮崎県協会)、▼50kg級 藤沢篤司(岐阜・岐南工高)、▼54kg級 中橋裕樹(富山・高岡商高)、▼58kg級 黒田竜也(山口・鴻城高)、▼63kg級 笹田英利(岐阜・岐南工高)、▼69kg級 高橋竜太(長野・上田西高)、▼76kg級 田守竹夫(長野・北佐久農高)、▼85kg級 藤岡裕士(茨城・霞ヶ浦高)、▼100kg級 前島信彦(長野・上田西高)

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼46kg級 山崎康弘(東京・東京工高)、▼50kg級 竹中伸太(大阪・大阪市立高)、▼54kg級 織田康博(京都・網野高)、▼58kg級 成田真臣(奈良・添上高)、▼63kg級 正村貴章(奈良・添上高)、▼69kg級 鈴木伸太郎(栃木・足利工大付高)、▼76kg級 吉川将太郎(富山・高岡商高)、▼85kg級 藤永啓吾(神奈川・日大藤沢高)、▼100kg級 藤崎和行(埼玉・埼玉栄高)

《女子ジュニア優勝者》▼43kg級 福浦早紀(島根・隠岐島前高)、▼46kg級 幹佳奈子(福岡大)、▼50kg級 篠村敦子(福岡大)、▼54kg級 山本聖子(日大)、▼58kg級 岩間怜那(中京女大)、▼63kg級 正田絢子(京都・網野高)、▼68kg級=出場なし、▼75kg級 富岡多恵子(国士舘大)

《女子カデット優勝者》▼36kg級 前原愛(四日市ク)、▼38kg級 本橋裕子(清水ドリームス)、▼40kg級 竹中奈々(京都・網野高)、▼43kg級 船津友里(埼玉・東洋大ク)、▼46kg級 野口美香(鹿児島・鹿屋中央高)、▼49kg級 世良桃子(福岡・青山ク)、▼52kg級 服部担子(愛知・中京女大付高)、▼56kg級 吉田沙保里(三重・久居高)、▼60kg級 初見絵里花(千葉・関宿ク)、▼65kg級 山本真由美(愛知・中京女大付高)、▼70kg級 比留間佳江(埼玉・埼玉栄高)

◇明治乳業杯全日本選抜選手権(4月17~18日、埼玉・朝霞市立総合体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 田南部力(警視庁)、▼58kg級 石嶋勇次(総合警備保障)、▼63kg級 山縣健二(群馬大研)、▼69kg級 和田貴広(和歌山県教育庁)、▼76kg級 小柴健二(自衛隊)、▼85kg級 川合達夫(日体大助)、▼97kg級 小菅裕司

(自衛隊)、▼130kg級 小幡弘之(警視庁)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 佐々木昌常(自衛隊)、▼58kg級 西見健吉(自衛隊)、▼63kg級 飯室雅規(拓大)、▼69kg級 永田克彦(警視庁)、▼76kg級 片山貴光(自衛隊)、▼85kg級 横山秀和(秋田・秋田経法大付高教)、▼97kg級 山口孝二(自衛隊)、▼130kg級 鈴木克彰(警視庁)

**◇東日本学生リーグ戦(5月18~21日、東京・駒沢体育館)**

《順位》[1] 日体大(2年連続22回目)、[2] 山梨学院大、[3] 日大、[4] 拓大、[5] 国士大、[6] 中大、[7] 大東大、[8] 東洋大

**◇西日本学生春季リーグ戦(5月29~30日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場)**

《順位》[1] 立命館大(初)、[2] 福岡大、[3] 桃山学院大、[4] 近大、[5] 同志社大、[6] 南九州大

**◇全国中学生選手権(6月12~13日、茨城・茨城県立スポーツセンター)**

《男子優勝者》▼35kg級 松本隆太郎(群馬・千代田)、▼38kg級 尾畑慎(静岡・静岡ろう)、▼42kg級 長谷川恒平(静岡・焼津)、▼47kg級 富田和秀(三重・一志)、▼53kg級 岩井康輔(京都・網野)、▼59kg級 高塚紀行(大阪・吹田一)、▼66kg級 佐藤吏(秋田・飯島)、▼73kg級 小椋康士郎(山梨・上野原)、▼85kg級 松本真也(京都・網野)

《女子優勝者》▼34kg級 谷沢直子(岐阜・東山)、▼37kg級 前原愛(三重・亀山)、▼40kg級 坂本真喜子(青森・白銀)、▼44kg級 藤本紗貴(大阪・吹田五)、▼48kg級 片渕有紀(大阪・西山田)、▼52kg級 島守朱美(青森・白銀)、▼57kg級 伊調馨(青森・長者)、▼62kg級 田中希枝(三重・加茂)

**◇東日本学生春季新人戦(6月16~17日、東京・駒沢体育館)**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 松永共広(日体大)、▼58kg級 田岡秀規(山梨学院大)、▼63kg級 井上真一(山梨学院大)、▼69kg級 佐野裕樹(日体大)、▼76kg級 小幡邦彦(山梨学院大)、▼85kg級 福田雄一(早大)、▼97kg級 藤田尚志(山梨学院大)、▼130kg級 加藤賢三(大東大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 引地崇仁(日体大)、▼58kg級 森岡則晴(拓大)、▼63kg級 佐々木聡(山梨学院大)、▼69kg級 荻本喜久(日体大)、▼76kg級 大久保潤一(青山学院大)、▼85kg級 森角祐介(日体大)、▼97kg級 藤田尚志(山梨学

院大)、▼130kg級 加藤賢三(大東大)

**◇西日本学生選手権(7月2~4日、大阪・なみはやドーム)**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 渡辺義正(立命館大)、▼58kg級 大塚康裕(福岡大)、▼63kg級 森岡寛至(同志社大)、▼69kg級 矢守正宜(福岡大)、▼76kg級 大橋理秀(桃山学院大)、▼85kg級 仙波勝敏(立命館大)、▼97kg級 平田聡(徳山大)、▼130kg級 溝口武士(福岡大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 裕英博(近大)、▼58kg級 川野健作(福岡大)、▼63kg級 水野康平(福岡大)、▼69kg級 池畑喜実成(東亜大)、▼76kg級 山口亮(立命館大)、▼85kg級 仙波勝敏(立命館大)、▼97kg級 角川康成(同志社大)、▼130kg級 溝口武士(福岡大)

**◇全日本社会人選手権(7月18~19日、東京・駒沢体育館)**

《団体戦優勝チーム》▼実業団 宮越工芸、▼クラブ 自衛隊A

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 戸井田昌教(宮越工芸)、▼58kg級 久米貴幸(自衛隊)、▼63kg級 山縣健二(群馬大研)、▼69kg級 勝龍三郎(大分・日本文理大付教)、▼76kg級 太田拓弥(和歌山ク)、▼85kg級 横山武典(国士館ク)、▼97kg級 花田真秀(和歌山ク)、▼130kg級 吉田清太郎(秋田市役所)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 豊田雅俊(警視庁)、▼58kg級 西島隆(高岡総合プール)、▼63kg級 西田哲人(自衛隊)、▼69kg級 織山昭仁(自衛隊)、▼76kg級 伊藤光伸(宮越工芸)、▼85kg級 太田浩史(青学大職)、▼97kg級 篠崎正二(自衛隊)、▼130kg級 室谷正憲(和歌山ク)

《女子優勝者》▼46kg級 吉村祥子(TBC)、▼51kg級 清水美里(代々木ク)、▼56kg級 三田寺由香(スポーツエリックス)、▼62kg級 宮崎未樹子(農大ク)、▼68kg級 江中和世(中京女大ク)、▼75kg級=出場なし

**◇インターハイ(8月1~4日、岩手・宮古市民総合体育館)**

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦(10年連続13度目)、[2] 鹿児島・鹿屋中央、[3] 秋田・秋田経法大付、長野・北佐久農

《個人戦優勝者》▼49kg級 久古敏章(京都・網野)、▼52kg級 徳留旭(鹿児島・鹿屋中央)、▼56kg級 藤本健太(大阪・近大付)、▼60kg級 古瀬幸郎(茨城・霞ヶ浦)、

▼65kg級 長島正彦(群馬・館林)、▼70kg級 長島和幸(群馬・館林)、▼76kg級 花田信秀(和歌山・和歌山工)、▼115kg級 岡村一樹(熊本・玉名工)

**◇全国高校生グレコローマン選手権(8月17~19日、岡山・倉敷市水島緑地福田公園体育館)**

《優勝者》▼46kg級 久古敏章(京都・網野)、▼50kg級 清水聖志人(茨城・霞ヶ浦)、▼54kg級 藤本健太(大阪・近大付)、▼58kg級 坂本貢司(香川・多度津工)、▼63kg級 長島正彦(群馬・館林)、▼68kg級 長島和幸(群馬・館林)、▼74kg級 平沢昌大(茨城・霞ヶ浦)、▼81kg級 花田信秀(和歌山・和歌山工)、▼87kg級 田中章仁(福岡・三井)、▼115kg級 沢田直樹(青森・八戸工大)

**◇全日本女子学生選手権(8月22日、長野・ホテルタガワ竜王体育館)**

《優勝者》▼46kg級 織田智絵(東洋大)、▼51kg級 坂本日登美(中京女大)、▼56kg級 岩間怜那(中京女大)、▼62kg級 鈴木亜里(日大)、▼68kg級 越智雅子(中京女大)、▼75kg級 宮本知恵(中京女大)

**◇全国高校女子選手権(8月22日、長野・ホテルタガワ竜王体育館)**

《優勝者》▼43kg級 林知佳子(静岡・沼津城北)、▼46kg級 野口美香(鹿児島・鹿屋中央)、▼50kg級 伊調千春(京都・網野)、▼54kg級 井上夕起子(東京・安部学院)、▼58kg級 吉田沙保里(三重・久居)、▼63kg級 正田絢子(京都・網野)、▼68kg級 比留間佳江(埼玉・埼玉栄)、▼75kg級=出場なし

**◇全国中学女子選手権(8月22日、長野・ホテルタガワ竜王体育館)**

《優勝者》▼38kg級 前原愛(三重・四日市ジュニア)、▼40kg級 菅原咲紀(秋田・昭和町スポーツ少年団)、▼43kg級 船津友里(埼玉・東洋大倶楽部)、▼46kg級 須藤真美(千葉・関宿クラブ)、▼49kg級 鈴木七恵(栃木・みぶチビッコ教室)、▼52kg級 伊調馨(青森・八戸クラブ)、▼56kg級 下国美穂(千葉・関宿クラブ)、▼60kg級 宇野祥弥(三重・四日市ジュニア)、▼65kg級=出場なし、▼70kg級 寺元梓美(青森・八戸クラブ)

**◇全日本学生選手権(8月26~29日、神奈川・日体大)**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 足立浩二(山梨学院大)、▼58kg級 山本徳郁(山梨学院大)、▼63kg級 栗尾直樹(日体大)、▼69kg級 工藤祐士(日体大)、▼76kg級 小幡邦彦(山梨学院大)、▼85kg級 藤田尚志(山梨学院大)、▼97kg級 小平清貴(山梨学院大)、▼130kg級 鈴木克彰(拓大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 引地崇仁（日体大）、▼58kg級 笹本睦（日体大）、▼63kg級 飯室雅規（拓大）、▼69kg級 池田秀治（山梨学院大）、▼76kg級 加納篤（日体大）、▼85kg級 松本慎吾（日体大）、▼97kg級 新井真次（日体大）、▼130kg級 鈴木克彰（拓大）

◇全日本学生王座決定戦（9月22～23日、東京・駒沢体育館）＝団体戦のFILAトーナメント方式

《順位》[1] 山梨学院大（初）、[2] 日大、[3] 国士舘大

◇西日本学生新人戦（10月1～3日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 森山振一郎（福岡大）、▼58kg級 井奥勇平（桃山学院大）、▼63kg級 森岡寛至（同志社大）、▼69kg級 池辺尚宏（福岡大）、▼76kg級 大岡輝比古（立命館大）、▼85kg級 仙波勝敏（立命館大）、▼97kg級 丸山真太郎（福岡大）、▼130kg級 西山知孝（福岡大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 森山振一郎（福岡大）、▼58kg級 本田一樹（桃山学院大）、▼63kg級 水野康平（福岡大）、▼69kg級 池畑喜実成（東亜大）、▼76kg級 松本八洋（福岡大）、▼85kg級 仙波勝敏（立命館大）、▼97kg級 丸山真太郎（福岡大）、▼130kg級 西山知孝（福岡大）

◇全日本大学グレコローマン選手権（10月10～11日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼54kg級 村田知也（日体大）、▼58kg級 笹本睦（日体大）、▼63kg級 平井満生（日体大）、▼69kg級 藤川和男（日体大）、▼76kg級 小幡邦彦（山梨学院大）、▼85kg級 税田拓也（拓大）、▼97kg級 松本慎吾（日体大）、▼130kg級 鈴木克彰（拓大）

《大学対抗得点》[1] 日体大（11年連続11度目）、[2] 拓大、[3] 山梨学院大

◇国民体育大会（10月24～27日、熊本・玉名市総合体育館）

《成年フリースタイル優勝者》▼54kg級 田村茂一（埼玉・自衛隊）、▼58kg級 関川博紀（新潟・県体協）、▼63kg級 金淵清文（青森・国士舘大）、▼69kg級 和田貴広（和歌山・県教育庁）、▼76kg級 太田拓弥（和歌山・県教育庁）、▼85kg級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高教）、▼97kg級 川合達夫（群馬・日体大助）、▼130kg級 鈴木克彰（東京・拓大）

《成年グレコローマン優勝者》▼54kg級 豊田雅俊（東京・警視庁）、▼58kg級 西島

隆（富山・高岡総合プール）、▼63kg級 平井満生（山梨・日体大）、▼69kg級 大井将憲（長野・県協会）、▼76kg級 片山貴光（埼玉・自衛隊）、▼85kg級 松本慎吾（愛媛・日体大）、▼97kg級 杉浦貴（埼玉・自衛隊）、▼130kg級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教）

《少年フリースタイル優勝者》▼49kg級 久古敏章（京都・網野）、▼52kg級 菅原剛志（福岡・三井）、▼56kg級 藤本健太（大阪・近大付）、▼60kg級 川路幸佑（福岡・三井）、▼65kg級 長島正彦（群馬・館林）、▼70kg級 長島和幸（群馬・館林）、▼76kg級 平沢昌大（茨城・霞ヶ浦）、▼83kg級 裾分隆仁（鹿児島・鹿屋中央）、▼90kg級 藤岡裕士（茨城・霞ヶ浦）、▼115kg級 幸野享（静岡・三島）

《少年グレコローマン優勝者》▼49kg級 門島義洋（富山・高岡商）、▼52kg級 石田宗久（岐阜・岐南工）、▼56kg級 村上文清（熊本・玉名工）、▼60kg級 坂本貢司（香川・多度津工）、▼65kg級 鎌田喜雄（熊本・玉名工）、▼70kg級 小島寿夫（茨城・霞ヶ浦）、▼76kg級 田守竹夫（長野・北佐久農）、▼83kg級 花田信秀（和歌山・和歌山工）、▼90kg級 中本将生（広島・広島国際学院）、▼115kg級 西田耕一郎（大阪・大阪市立）

**◇全日本大学選手権（11月13～14日、富山・黒部YKK体育館）**

《優勝者》▼54kg級 高橋利典（山梨学院大）、▼58kg級 山本徳郁（山梨学院大）、▼63kg級 金渕清文（国士舘大）、▼69kg級 工藤祐士（日体大）、▼76kg級 小幡邦彦（山梨学院大）、▼85kg級 溝上誠治（日体大）、▼97kg級 小平清貴（山梨学院大）、▼130kg級 佐藤丈治（中大）

《大学対抗得点》[1] 山梨学院大（初）、[2] 日大、[3] 日体大

**◇西日本学生秋季リーグ戦（11月20～21日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）**

《順位》[1] 徳山大（4季ぶり13度目）、[2] 立命館大、[3] 同志社大、[4] 福岡大、[5] 桃山学院大、[6] 近大

**◇全日本選手権（11月26～28日、埼玉・新座市民総合体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 田南部力（警視庁）、▼58kg級 関川博紀（新潟県体協）、▼63kg級 宮田和幸（クリナップ）、▼69kg級 和田貴広（和歌山県教育庁）、▼76kg級 小幡邦彦（山梨学院大）、▼85kg級 川合達夫（日体大研）、▼97kg級 小菅裕司（日体大）、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 佐々木昌常（自衛隊）、▼58kg級 西見健吉

(自衛隊)、▼63kg級 平井満生(日体大)、▼69kg級 永田克彦(警視庁)、▼76kg級 片山貴光(自衛隊)、▼85kg級 松本慎吾(日体大)、▼97kg級 篠崎正二(自衛隊)、▼130kg級 浜上稔(宮崎・宮崎農高教)

**◇東日本学生秋季新人戦(12月4～5日、東京・駒沢体育館)**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 藤田康人(日体大)、▼58kg級 若山真毅(日体大)、▼63kg級 池松和彦(日体大)、▼69kg級 荻本喜久(日体大)、▼76kg級 小路伸亮(拓大)、▼85kg級 森角祐介(日体大)、▼97kg級 吉田栄利(国士舘大)、▼130kg級 藤田尚志(山梨学院大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 近藤貴士(青山学院大)、▼58kg級 松尾大士(日体大)、▼63kg級 池松和彦(日体大)、▼69kg級 佐野裕樹(日体大)、▼76kg級 池田秀治(山梨学院大)、▼85kg級 本多尚基(日大)、▼97kg級 吉田栄利(国士舘大)、▼130kg級 藤田尚志(山梨学院大)

**◇全日本女子選手権(12月22～23日、東京・代々木競技場第2体育館)**

《優勝者》▼46kg級 山本美憂(PUREBRED)、▼51kg級 坂本日登美(中京女大)、▼56kg級 清水真理子(埼玉・埼玉栄高教)、▼62kg級 岩間怜那(中京女大)、▼68kg級 宮本知恵(中京女大)、▼75kg級 浜口京子(浜口ジム)

**◇全国社会人オープン選手権(2000年2月19～20日、東京・スポーツ会館)**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 戸井田昌教(宮越工芸)、▼58kg級 佐藤力(スポーツ会館)、▼63kg級 山本英典(自衛隊)、▼69kg級 青木篤志(自衛隊)、▼76kg級 斎藤柔(自衛隊)、▼85kg級 高橋善孝(宮越工芸)、▼97kg級 土居克也(チームアルペロ)、▼130kg級 平野誠一(富山県協会)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 井口摂(情念クラブ)、▼58kg級 安原隆(自衛隊)、▼63kg級 栗本秀樹(チームアルペロ)、▼69kg級 久保雅紀(宮越工芸)、▼76kg級 伊藤光伸(宮越工芸)、▼85kg級 太田宣明(自衛隊)、▼97kg級 大同泰政(自衛隊)、▼130kg級 川島一則(クリナップ)